高等学校
 令和6年度(2学年用)
 教科
 芸術
 科目 音楽工

 教科: 芸術
 科目: 音楽工
 単位数: 2 単位

 対象学年組:第 2 学年
 1 組~ 7 組

使用教科書: (教育芸術社 高校生の音楽②)

		表现					I	I			55
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	歌	器	創	鑑賞	評価規準	知	思	態	当時数
1学期	A みんなで歌おう 【知識及び技能】 ա想と歌詞の内容を理解し、歌詞との はいていて理解を深め、楽曲にも さわしい発声で言葉の発音では、楽曲にも につける。 【思考力、判断力、表現力等】 (個性豊かな歌唱表現を創意工夫する。 【学びに向かう力、人間性男 学学に向かう力、人間性男 メッセージ性のある歌詞を歌うことを 楽しみながら、主体的・協働的に取り 組む。	・発声の基本を振り返る。 ・歌詞に込められているメッセー ジを正しく開降する。 ・楽曲にふさわしい歌い方や表現 を考える。	0			0	1. みんたで課計う 「知識及び出る。 「知識及び活性による歌唱表現の固有性や多様 「知識及び活性による歌唱表現を可含ために必要 「報々な表現形態による歌唱表現をするために必 ・創意工事を生かした歌唱表現をするために必 をなどの技能を身につけ、歌唱で表している。 「思考力、叫新力、表現力等」 音色、リメム、遠度、遊往、強弱、精度を知覚 し、それらの報告を感受したがら、知覚したこと し、それらの報告を感受したがらいでする。 とと感受したこととの関わりについて美で し、それらの報子を表している。 「学びに向かう力、、関性等」 発声の基本及び歌詞に込められているメッセー 生体的・傷傷的に歌唱の活動に取り組むもうとして 体的・傷傷的に歌唱の活動に取り組むもうとして いる。	0	0	0	10
	B ヨーロッパの歌 (イタリア) 【知識及び技能】 イタリア語の管や曲にふさわしい発 カタリア語の管や曲にふさわしい発 カタリア語の管や曲にあさわしい発 かを意識して、個性豊かな歌唱表現を 創意工夫する。 【思考力、判断力、表現力等】 8分の6拍子特有のリズムを意識して、個性豊かな歌唱表現を創意工夫する。 「学びに向かう力、人間性等】 イタリア語の特性とそれにふさわしい 発声、8分の6拍子の歌唱表現に主体 的・協働的に取り組む。	・言葉の美しい響きを感じながら、拍の流れにのって歌う。 ・イタリア語の発音とベルカント唱法を理解する。 ・8分の6拍子を理解する。 ・8分の6拍子を理解する。	0			0	10 ヨーロッパの歌 (イタリア) [知識及び抹能] 三十四ッパの歌 (イタリア) [知識及び抹能] 三葉や特性と曲値に応じた発声と関わりについて理解している。 刺髪正天を生かした歌唱表現をするために必要ない。 大きない 一般 (大きな) 大きない (大きな) (大き	0	0	0	10
2 学期	□ コーロッパの歌(ドイツ) 「知識及び状態】 ドイツ部の発音の特徴(子音、ウムラウ トイツ部の発音の特徴(子音、ウムラウ トなど)、音楽のリズムと旋律との関わり に思考力、神の力、表現力節温を知 見まう、神のリズムと旋律の関連を 受し、それらの働きを感受しながら、 があるかについて表現を 学がに向かっカー人間性等 ドイツ歌曲に関心をもち、それぞれの業 電際関係をもって、主体的・協働的に 歌唱の活動に取り組む。	・曲想の異なる2つのドイツ語の 曲を、それぞれの物後を把握しな がら効果的に歌い上げ、2つの曲 の個性豊かな歌唱表現を創意工夫 する。 「君はまるで花のよう」 「おれは鳥刺し」	0			0	C ヨーロッパの歌(ドイツ) 「知識及び技能」 ・言葉の特性と曲権に応じた発声と関わりについて理解していた歌唱と乗せったのにので、 ・創意工を生かした歌唱表集曲に応じた発 変な、音葉の響を身につけ、歌唱で表している。 「湿寒力、神のかって、水鳴で表している。 「湿寒力、神のかっなんとが様の間のをうにる。 「湿寒力、神のかっなんとが様の間のをうにる。 「空がに向かうか、人間性等」 ドイツ歌曲に関心をもち、それぞれの楽曲の動 囲気をもって、主体的、植物的に歌唱の話動に 取り組むらとしている。	0	0	0	12
	とに関心をもち、主体的・協働的に演奏 活動に取り組む。	- 易しいリズムバターンを組み合わ せて、綿密なアンサンブルを構築す る。 「クラッピング・カルテット」		0		0	D 器集 (手拍子) 【知識及び活動。 由想見・強曲の構造 (手拍子で表現するリズム アンサンブル)との関わりについて理解している。 来曲にふさわしい音色でアンサンブルを構築 している。 【思考力、判断力、表現力等】 互いの音の響きを感じ取りながら、どのように 漢学するかいでの表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 手拍子でのアンサンブルの演奏をすることに関 心をもち、主体的・傷物的に演奏を描かに取り組	0	0	0	10
	服 水ペラ 加織及び状態】 メルペンオペラとしての『魔笛』の内容を を登場人物と変との関係を理解主義が を登場人物と変との関係を理解主義が に思考力、判断が力、表現力等】 音色、リズム、速度、旋伸、それらの働受しも に、患や減少が力を増生したととなど性、 は自分や社会にとっての種やの間を 方をなって、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので	・オペラの深の映像を離れ、物部の歴史的音及を理解するともに、 歌手の技士が発揮されるアリアや ニーモラスで書価感にあかれる二重 変を聞いて、オペラの魅力を感じ取 『魔笛』	0				E オペラ 「知識及び性能】 メルヘンオペラとしての『魔笛』の内容や登場的 ドルヘンオペラとしての『魔笛』の内容や登場的 背景として廖蒙主義がこの作品に与えた影響を 理解して歌いている。 現場が、判断力、表現力等】 音色、リズム、速度、 競棒、テクスチュア、強な 弱、構成を知覚し、それらの働きを感ぐしなが ら、知覚したことと感受したこととの関わり正 いついて考えるとともに、	0	0	0	8
3 学期	「た時代とその歴史背景を選解することに学問心をもち、主体的・協働的に鑑賞 間話動に取り組むを表し、自然の経験音楽 日本の伝統音楽 日本の伝統音楽 の特徴を選集が表した。 1 日本の伝統音楽の特徴を選集が表した。 1 日本の伝統音楽の特徴を選集が表した。 1 日本の上の機会を選集が表した。 1 日本の上の機会を選集したとの一般を表した。 1 日本の上の人の大田の一般である。 1 日本の上の人の大田の一般である。 1 日本の上の人の大田の一般である。 1 日本の上の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の	・日本の伝統音楽の特象を理解して、平家の曲節のうち口節と中音の 機範演奏を概いて語りのまねをす る。 『平家』 建笹				0	・主体的、協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。  「日本の伝統音楽 「知識及び技能」 日本の伝統音楽 「知識及び技能」 日本の伝統音楽性と関右性を考えている。  「日本の伝統音楽性と関右性を考えている。 「日本の大学・学校・学校・学校・学校・学校・学校・学校・学校・学校・学校・学校・学校・学校	0	0	0	8
		・朗読、演劇、映像などからBGIを つける対象を選び、どの場面のBGI をつくるかを決める。 ・サウンド系のBGIもしくはメロ ディー系のBGIを今くる。 ・つくったBGIを発表し、コメント をする。		0	0		6 器業・創作 (BGM) 【知識及び技能】 「新成及び技能】 「音素材、サウンドビース、メロディーの骨格 を表したいイメージと関わらせて創作してい と思考力、判断力、表現力等) 音色、リメム、速度、影響、構成を知覚 したこととの残しかについて考え、ど とと感覚したこととの限わりについて考え、ど 図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 サウンド末のBGMもしくはメロディー系のBGMを 作の学習活動に取り組もうとしている。	0	0	0	12
											合 計 70